

ずいそう

コロナ禍での第二の人生を楽しむ

玉田 一雄



令和2年4月1日で国土交通省を早期退職し第二の人生が始まりました。コロナ禍で、現役時代に夢見ていた世界一周旅行はおろか国内旅行もできず、近場の温泉で長男と妻の家族三人で1泊2日を楽しみました。

腰痛持ちの僕はゴルフを辞めたため「旅行（計画を含む）」・「写真撮影」・「食べ歩き」が三大趣味で、悶々とした日々を送ることとなりました。迎えた令和4年度、ウイズ・コロナへの移行が始まり自己管理のもと旅行を解禁しました。主には、4月広島県内2ヶ所、6月北海道東部と佐渡島と佐賀県、7月八丈島、11月門司港・小倉と富士五湖巡り等、12月横浜…等です。

今回は『7月1～3日八丈島旅行』の概要とお勧めの観光地・温泉・伝統芸能等・飲食及びガイドさん等から聞いた番外編を交えてご紹介したいと思います。

八丈島は伊豆諸島で、南方海上286km、羽田空港から飛行機で55分、面積69.11km²のひょうたん型をした島です。地形的には富士火山帯に属する火山島で、南東の三原山(700.9m)と北西の八丈富士(854.3m)から成り立っています(図-1)。気候は、黒潮暖流の影響を受け高温多湿で雨が多いことが特徴です。集落は、檜立・中之郷・末吉・大賀郷・三根エリアで構成され、人口約7,000人です。

南島の八丈島はさぞ暑いだろう…、出迎への八丈町

営バスのガイドさん曰く、風が強いため暑くても30℃少し位ですよ。ただ、多湿のため雲が多く気候が変わりやすいとのことでした。この時期に八丈富士が奇麗に見えることは珍しいと、観光地の順番変更をし八丈富士中腹の①「八丈富士ふれあい牧場」から山頂(写真-1)と三根エリアを見る観光から始まりました。

【観光地】

- ②宇喜多秀家公と豪姫の碑：大賀郷エリアにあり、関ヶ原の戦いで敗れ八丈島に流罪となった秀家公が暮らし、本土に残し生涯離れ離れであった妻豪姫との碑が③「南原千畳岩海岸」沿いにあり、島内には秀家公の住居跡と④墓所、豪姫ゆかりの椿もあります。



写真-1 八丈富士ふれあい牧場



図-1 八丈島エリアガイド

- ⑤大里の玉石垣：海岸から運ばれた20～60kgの玉石を六方積みという手法で規則正しく積み上げられた石垣で、その高さや形状(反つてると◎)が格式の高さを表します。玉石垣は台風・地震・津波に耐えるが、木の根に弱いとのこと。
- ⑥八丈植物公園：南国自然気分を味わえ、可愛い「キョン」も飼育されています。このキョンは去勢手術を受けており雄雌同居しています。台湾原産で現在は繁殖禁止で一匹捕獲すると2～3,000円貰えるとか。
- ⑦裏見ヶ滝：中之郷エリアにあり、天然記念物ヘゴシダが茂るジャングルのような中の急坂を約10分上ると滝に到着します。年中涸れることはない。ガイドさん曰く、新人の頃八丈島は殆ど坂がない為急坂を上る経験がなく、息切れしてガイドができな

かった苦い経験があるとのこと。ヘゴシダの北限は八丈島とか。

- ・ ⑧名古の展望台：末吉エリアにあり、右手に断崖絶壁、左手に見渡す限りの太平洋が広がる絶景の展望台です。小さな石台があり2回来島された昭和天皇がその場所からご覧になられたとのこと。
- ・ ⑨登龍峠展望台：末吉から三根エリアに向かう登龍峠は、あたかも龍が昇ってくるように見えるため名付けられたとのこと。雄と雌の龍が壁面にある峠道ですが、富士箱根伊豆国立公園内にある展望台からは、新東京百景に選ばれた八丈富士等の絶景が見えました。しかし、八丈富士はすぐに雲に覆われてしまいました。

【温泉】

- ・ ⑩みはらしの湯：末吉エリアには観光客に一番人気の露天風呂「みはらしの湯」があり、芸能人や観光客に人気で、太平洋を見渡す絶景が見えます。島内の温泉施設は、観光客が必ずどこかの温泉を楽しむように、休業日はずらしているとのこと。

【伝統芸能等】

- ・ ⑪服部屋敷、榎立踊りと八丈太鼓：榎立エリアにある江戸時代、幕府御用船を管理する職にあった服部家の屋敷構えは豪勢で、屋敷を囲む二重の玉石垣や樹齢700年といわれる大ソテツは見事です。屋敷内で実演される榎立踊り（写真—2）と八丈太鼓は、ベテランの女性達を中心に軽快に演じられます。また、ここだけで飲める生パッションフルーツは美味でした。



写真—2 服部屋敷での榎立踊り

- ・ ⑫黄八丈めゆ工房：伝統的工芸品の黄八丈織物は黄・茶・黒色の基本色で手織りする素晴らしい工芸品で、貴重な織機での実演・販売をされています。奥にある着物は約900万円だとか。

【飲食】

- ・ 明日葉（あしたば）：「今日新芽を摘んでも、明日に

はまた新しい芽が出てくる」と言われるほど生命力が強い健康野菜で、八丈島の特産品です。健康長寿の島で5g/日摂取すると良いらしく、天ぷらが有名です。

- ・ 島寿司：近海で獲れた旬な魚を醤油ベースのタレに漬けてツケにし、シャリはやや甘目の酢飯で握り、ワサビの代わりにカラシを載せてある郷土料理です。
- ・ くさや：古来より保存食として魚を塩でまぶしていましたが、貴重な塩を節約するため同じ塩水に何度も魚を漬け、塩水に魚のエキスが加わり旨味成分が溶け込んだ塩汁（くさや汁）が出来たと言われていいます。「病みつきになる美味しさ」とあり夕食に少し頂きましたが、私はその匂いと食感に…でした。

【番外編】※裏話や逸話、私見など。自己責任で。

- ・ ペットボトルの水：飲料水の自動販売機が少なく高価（水¥210）のため、毎朝ホテルでの購入がお勧め。
- ・ 限定パンツ：くさや独特の匂いとかけ、パンツのお尻に「クサッ！」と書いた八丈島限定パンツが人気。
- ・ コンビニとファミレス：コンビニとファミレスはない。約80軒ある居酒屋等で家族で食事をする。
- ・ 自動車ナンバー：陸運局の管轄が品川だから八丈島の住民票で八丈島で車を購入すると品川ナンバー。
- ・ 渋滞：車5台並ぶと渋滞で、10台は大渋滞。
- ・ ガソリンスタンド：点在させ一週間分のガソリンを貯蔵している。ガソリン価格は高く当時200円/ℓ。
- ・ 降水量と水田：年間降水量は4,000mm。伊豆諸島で唯一水田があったが台風が多く水田はなくなった。
- ・ トビウオ：絶景の⑬大坂トンネルの展望台付近の大坂大橋欄干には八丈島の魚であるトビウオの絵がある。
- ・ 紅葉：寒暖差がない為、紅葉はない。平均気温17.8℃で、氷点下になることはない。
- ・ 降雨：3日間雨が降らないのは珍しい。
- ・ 絶景時期：梅雨明け後の10日間位が雨と風がなく八丈富士・三原山が山頂まで見えやすい時期とか。
- ・ 欠航率日本一：八丈島空港は低い雲や濃霧に襲われ易く、日本一欠航が多い。案の定、帰路日は朝から濃霧で当日中に帰れるのか心配しました。八丈島に行く際は、最低限翌日は用事がない日程がお勧めです。

以上、八丈島の紹介をしましたが、耳より情報になったのではと自己満足しています。引き続き、目標の1道1都2府43県制覇と早く海外旅行に気楽に行けるようになればと計画を楽しんでいます。

末筆ですが、八丈町営バスのガイドさんとドライバーさん、そして島民の方々に感謝致します。

—ただま かずお（株福田組 建設企画部 技術部長

（広島営業所駐在）—